

教育普及活動の紹介 ⑥

草木で遊ぼう

青葉、若葉のかおる、五月晴れのもと、心優しいお母さんたちが、郊外の山野を歩き、草木遊びに興じました。

去る5月12日(水)、博物館の小川(民俗担当)、浜口(生物担当)両学芸員を中心に、「草木で遊ぼう」の体験学習会が開かれ、昔、子供たちが行った草木遊びを再現し、楽しいひと時を過ごしました。

講師に猪俣悦郎氏をお招きし、金目観音～南金目神社～配水池と巡り、笛舟、カギッコ、風車、笛などをつくりました。以下は、当日参加したお母さんたちの感想文ですが、新しい恋人たちに出合った様な観です。

◇晴れた日の、5月の緑は、気分をさわやかにしてくれます。タンボボやからすのえんどうで作った笛をふきながら、木の皮のメンコに興じたり、色々な型の笛舟を作つて小川に流したり、レンゲ草を摘んで編んだり、本当に楽しい半日でした。緑の中を歩きながら、遠い子どもの頃を思い出しました。

そして、ある意味では、父や母たちも又、草や木で遊んでいたのではないかと思いました。食べ物がよい例で、それを食べなければ生活に困るものでもないのに、春にはふきのとう、せり、よもぎ、竹の子、夏にはゆずやみょうが、秋にはきのこ、冬は何があったのか思い出せませんが、それらを搜す楽しみ、そして味わう楽しみ、口の中に広がる季節の味、これらはおとなたちの遊びだったように思えます。

子どもたちに草木の遊びを伝えると同時に、大人としても大いに草木で遊びたいと思いました。

(岡崎 主婦 宗像正江)

※4ページへつづく



6月の行事

1	火	
2	水	
3	木	デッサン教室
4	金	デッサン教室
5	土	プラネタリウム 古文書講読会 土曜観察会「高麗山の自然」
6	日	プラネタリウム
7	月	(休館日)
8	火	
9	水	
10	木	
11	金	
12	土	みんなで調べよう「平塚のツバメ」
13	日	
14	月	(休館日)
15	火	
16	水	
17	木	
18	金	
19	土	土曜観察会「高麗山の自然」
20	日	プラネタリウム
21	月	(休館日)
22	火	
23	水	
24	木	
25	金	
26	土	プラネタリウム
27	日	地層観察会「海辺の石」
28	月	(休館日)
29	火	
30	水	(月末休館日)

- ◇6月10日から6月19日まで、全館のくんじょう(殺虫消毒)のため、この期間は、博物館への立ち入りは出来ませんので、御注意を。
- ◇プラネタリウムは、「白夜」をテーマに投影します。

7月の行事

●地層観察会 「海辺の石」

日時 6月27日(日) 9時~16時

場所 大磯海岸

対象 中学生以上

参加御希望の方は、ハガキで博物館まで申し込んで下さい。案内書をお送りします。

●自然観察会 「丹沢のふもとをたずねて」

丹沢の地質や生物などを観察します。

日時 7月11日(日) 9時~16時

コース 秦野市養毛~ヤビツ峠付近

参加御希望の方は、往復ハガキで、6月30日までに博物館まで申し込んで下さい。申し込み多数の場合は、抽選で30名まで。

●夏期特別展 「掘り起された平塚」

市内の遺跡から発掘された出土品を展示し、平塚の古代、中世の生活を探るとともに、文化財に関する理解を深める。

期間 7月20日(火)~8月29日(日)

場所 博物館・特別展示室

(入場無料)

●第4回・市民のアトリエ水彩教室

期間 7月21、22、23、24、27、28、29、30日

対象 中学生以上一般の方

参加御希望の方は、往復ハガキで、7月1日までに博物館まで申し込んで下さい。申し込み多数の場合は、抽選で40名まで。

●体験学習会65 麦から細工

昔の子どもたちの遊びである麦から細工を体験します。カゴやデンデンアメなどを作ります。

日時 7月25日(日) 10時~15時

場所 博物館・科学教室

申し込み 往復ハガキで、7月14日までに博物館まで申し込んで下さい。申し込み多数の場合は、抽選で30名まで。

●自然観察入門講座 「チョウの観察」

アゲハチョウなどの行動を中心に観察します。採集はしません。

期日 7月22日(木)~23日(金)

2日間

・場所 高麗山・湘南平付近
対象 小学校4年生以上
申し込み 往復ハガキで、7月10日までに博物館まで。申し込み多数の場合は、抽選で30名まで。

●自然観察入門講座 「貝化石を調べよう」

期日 7月30、31日、8月3日(3日間)
場所 大磯海岸、大船付近
対象 小学校4年生以上
申し込み 往復ハガキで、7月20日までに博物館まで。申し込み多数の場合は、抽選で30名まで。

●サマー・セミナー参加者募集

夏休みに、小・中学生を対象に2泊3日の自然観察と団体生活を体験する会を開催します。

期間 8月23日(月)~25日(水)
対象 小学校5年生~中学校3年生までの男女
定員 40名
参加費 1人約5,000円
応募方法 参加御希望の方は、60円切手を同封の上、「サマー・セミナー案内希望」と書いて博物館まで申し込んで下さい。
折り返し案内書を送付いたします。案内書は、博物館の受付でも配布しております。案内書をお読みの上、応募用紙に必要事項を記入の上、申し込んで下さい。
応募締め切り日 7月10日(土)

平塚市制50周年記念・文化センターまつり

高瀬慎吾コレクション公開展

鳥海青児油彩画公開展

7月1日(木)~7月4日(日)

博物館/特別展示室・講堂

相模人形淨瑠璃芝居前鳥座人形展

乙女文楽人形展

7月1日(木)~7月4日(日)

博物館入口ホール

日本庭園完成披露とお茶会(野点)

7月1日(木) 12時~15時30分

7月4日(日) 10時~15時30分

いずれも博物館庭園にて行う。



発掘された平塚

平塚市域における遺跡分布の特徴

昭和48年と49年の2回にわたる遺跡分布調査(委託)により、43遺跡しか県文化財遺跡地図に登録されていなかった遺跡が、約6倍の272遺跡確認された。その後博物館と社会教育課との補足調査により、現在まで293遺跡が周知された。内訳は集落址250、古墳18、横穴墓14、館址3、城址6、廃寺1、陣屋跡1である。

これらの遺跡は大きく相模川によって形成された沖積低地と洪積台地に分布している。集落址だけを地形別、時代別に分類して見たが、1つの遺跡には重複した時代があるため、これを1つ1つ独立した時代として分類したため実際の遺跡数250より91遺跡多い、341遺跡となった。その分だけ重複した遺跡が多いことを物語っている。

洪積台地は大磯丘陵、北金目台地、伊勢原台地に分かれ、沖積低地は埋没砂丘、自然堤防、扇状地、後背湿地等に大きく分かれる。

遺跡を地形別で見ると、台地に43%、沖積低地に57%分布し、さらに沖積低地の中でも埋没砂丘に36%もの遺跡が分布している。平塚市の遺跡分布上での大きな特徴は、埋没砂丘上に立地する遺跡の多い点が指摘できる。

次に時代別に見ると縄文10%、弥生14%、古墳14%、奈良・平安の62%となり、奈良・平安時代に爆発的に遺跡数が増加しているのがわかる。これは農耕技術の進歩と耕地の拡大による集落の発展の結果と考えられるが、相模川水系を舞台に何らかの政治的要因が絡んでいるように思われる。

遺跡分布を通して平塚市の特徴を記したが、今後更に1つ1つの遺跡の内容を分析することによって、古代集落の展開を考えて行きたい。(A)

∞ ━ ━ ∞

おことわり 「天文コーナー」、「みんなのサロン」は、今回お休みさせていただきます。

教育普及活動の紹介

※1ページからのつづき

「五月晴れのもと、山野を歩きながら草木で遊ぼう」、そんな呼びかけにふと故郷の山で、土手で遊んだ幼な友達を思い浮べました。

金目観音から神社まで、講師の猪俣先生のお話に、草、木の名を訪ねたりの道のりは、汗ばむ程の好天気でした。神社の木陰で、草や木を使っての昔ながらの遊び方の説明に、何度もうなづいたものでした。たんぽぽ、れんげ等でのおヒナ様づくり、笹舟を途中の小川にうかべ、みずきの木でカギッコ遊びと童心にかえっての楽しいひとときでした。

花輪づくり、カヤつり、風車、笹舟、カギッコ、そして木の皮でのメンコ遊び等、皆様いくつ御存知ですか。

自然の中で木や草を使って遊ぶ喜びと感動を今の子供達に教え、小さい頃の思い出として、いつまでもつたえたいものです。

(東中原 主婦 吉川信子)

◇ちょうど私が近くに住んでおります金目観音に集合ということでしたので、半分は自分自身のため、半分は息子たちのためにと参加いたしました。

紹介された遊びのうちのいくつかは、子供の頃遊んだ覚えのものもあり、なつかしくその頃を思い出しました。初耳のものも数多くあり、こんな遊びもできるのかとうれしくなりました。今度、さっそく息子たちを連れて同じコースを歩いてみようと思っております。高価な、どぎつい超合金のおもちゃを買い与えるよりずっと素晴らしいプレゼントになることでしょう。

それにしても、自然は大切にしなくてはとつくづく思いました。

(南金目 教員 小嶋倫子)



◇感想をひと言で表わすならば「楽しかった」なのです。だって「昔は何もなかったですから。。」と表情豊かに説明しながら教えて下さった猪俣さんの、「アシスタントの家内です」とさりげなく紹介なさった時の眼には、ついニヤつかずにはいられなくて。

その上好天の中、草笛をふきながら坂を登り、下り、畠の中を歩きながら摘んだ草や、前もって準備して下さった材料を使っての草木遊びは、なかなかのものでした。また副館長さんの手に成る笹の帆かけ舟は、風を受けて素晴らしい速さでした。私もあれに乗って時を超えて乗られたら。。。

でも、この遊びを「お子さんに伝えてほしい」と館員さんがおっしゃった時には、私の子供はもう充分大きい、しかば孫にでも教えるのかいナアと思つたりして、女心はいささか複雑でした。

(寺田繩 主婦 柳川睦子)

	5月 13日	5月 8日	5月 5日	4月 27日	4月 18日	4月 16日	4月 2日	学芸日誌
の全国開催会の開催。	定例打ち合わせ会。	各学芸員、展示室メンテナンスによる着手。	視察長野県中川村、信濃町からの定例打ち合わせ会。					

はくぶつかん

VOL. 7 & 3 通巻74号 印刷 平塚市総務部総務課文書係 ● 3500

発行 平塚市博物館 T 254 平塚市浅間町12-41 TEL 33-5111